



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

生活・法律相談・ご意見もお気軽にどうぞ

小川・吉開

検索

2012, 6, 10 NO. 214

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

編集・発行

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午
無料・弁護士相談
6月8日(金)
午後18時～20時
予約が必要です

震災がれき受け入れについて田尻町の正式見解を求める

吉開議員

7日、6月議会が開会

原町長の答弁

担当部長の答弁

質問の内容

受け入れ時期に関してはむづかしいが、受け入れしないとは一言もいっていない。クリアをしなければならぬ問題はたくさんある。被災地支援もあります。田尻町のみなさんの健康のことも心配です。

5月18日に泉佐野市長が来られ、町長にたいして、被災地の復興支援として、震災がれきを受け入れたいとの意向が示めされた。本町としては、消却後の消却灰の最終処分地が現在もまだ確保されていないこと、現焼却施設が古いこと、また焼却施設からの放流水が直接田尻川に流入していることなどの懸念から現段階で受け入れることは時期尚早であると考え、今後、慎重に検討を重ねていきたいということを伝えた。

新聞などで「被災地の不燃がれき 泉佐野、受け入れへ」と報道されました。その記事のなかで「市は当初、可燃物の受け入れを検討していたが、焼却施設を共同運営する隣接の田尻町が現段階での可燃物処理に難色をしめしているため、不燃物を受け入れることにした」と(朝日新聞29日付朝刊)と報道されていますが、あくまで泉佐野市と泉佐野市長への取材で記事にされたものです。田尻町の正式見解を求めます。

原町長が施政方針演説を行いました。「幼稚園3歳児の受け入れ再開については、(中略)多くの課題を抱える現状では(中略)新たな子育て支援施策実施に向け検討を進めます」とのべています。これは、5月31日に開いた全員協議会で原町長が議員に報告した、現施設で、幼稚園3才児保育の復活は、当分の間は非常に困難であり、来年度から、キッズルームで3歳児の1児預かり実施の検討などを意味しています。原町長の公約との関係を小川議員がたまたましたので次週報告します。

原町長が施政方針・議員7名が一般質問
傍聴者は11名

高学年の学童保育アンケートに41通の回答

原町長の答弁

質問の内容

アンケートの集約結果

回答総数 41通 (5月31日現在)

現在学童保育を利用の保護者	22人
利用していない保護者	19人
* 高学年保育を希望する	38人
希望しない	2人
どちらでもいい	1人
* 希望する学年	
4年生	4人
5年生	4人
6年生	29人
* 希望する期間	
長期休業だけ	11人
通常だけ	0人
通常と長期休業の両方	24人

共産党議員団が行った、高学年の学童保育実施などについてのアンケート調査に、5月31日現在で41通の回答を頂きました。約400枚配布した中から1割も

の保護者の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。集約結果は、左表をご覧ください。

長期休業に4年生だけではないという話は、今、現在ではいろんな課題があり難しいと考えるが、教育長と教育委員会ともう一度いろいろ話をし、どこが問題でどうすれば預かることができるのか、4年生に限りですが話をしたいかなと思っ

隣の泉佐野市では、夏、冬、春の長期休業に4年生だけを受け入れていまます。アンケート調査結果にもとづき、施設を拡充し、通常と長期休業を含めた小学校6年生までの学童保育の実施を求めます。そして、来年度から泉佐野市でも実施されている長期休業中のせめて4年生までの実施、長期

休業中の学童保育開始時間、現在朝8時半からを8時に繰りあげることが要望いたします。

通常と長期休業を含めた小学校6年生までの学童保育の実施に必要な施設の拡充は、学童保育施設を消防センターに移転拡充することで実現することを提案いたします。

小学高学年の学童保育の実施を求める 吉開議員



りんくう府営住宅募集あります

福祉世帯向け
2棟204号室 3寝室
入居人数 2人以上

締切 6月15日

申込書ご希望の方はご連絡下さい